

番 号 08-01  
受 付 平成21年6月13・19日  
提案名 ふるさと納税制度について  
ふるさと備前サポート基金について

## ふるさと納税制度について

### ふるさと納税制度を活用した市外居住職員への呼びかけ!

市外居住の職員にこの制度を活用してもらい、少しでも歳入増を図るべきでは。

「何処に住もうが自由」であり、同じ職員として心苦しいところもあるが、議会等でも一部議員から揶揄されているように、生活の糧を備前市税から得ているのであれば、当然に寄附を考えている職員があつてしかるべきである。

いずれにしても協力する職員は、5,000円の自己負担を強いることから、どうせ負担するなら、5,000円の負担で寄附できる額を最低限に、寄附を呼びかけてはどうか。

ちなみに、

$$5,000円 + \{ (住民税所得割 \times 10\%) \div (90\% - 所得税の摘要税率) \}$$

で試算できると思います。

なお、別添に5,000円の負担で寄附できる寄附金額の試算ができる計算票(県のホームページから拝借)を添付したので、参考にされたい。(源泉徴収票、特別徴収税額通知があればすぐ計算できます)

なお、市外居住の職員は、一般の方と同様の手続きでなく、職員専用のもので振り込み手数料ぐらいは、不要となるようにすべき。

また、5,000円の自己負担で寄附できる寄附金額を一度に納めていただくのは酷であり、負担感を軽減するため、申し出た職員について給与天引きによる分割納付をお願いしたい。

寄附金控除の関係から、当該年分の所得控除となるよう、12月末までに納付を終えるよう、分割して納付いただき、1月になり天引き合計額により寄附金控除の証明書を作成し源泉徴収票と一緒に配付する、というような流れで。

**本音は、市外居住職員は(申し訳ないが)半強制でもいいかも  
備前市からの「逆ふるさと納税」(税流失)がある限り、  
それを補填する最も確実な方法ではないか!!**

## ホームページが不親切!!

### ホームページの入口「ふるさと納税」の色が暗い！イメージとか悪くないですか？

適正寄附金の試算ができるコーナーを掲載すべきでは！（ただしよく検証してから）

具体的な計算方法とかがあるが、制度の説明に終始しており、例示だけでは「幾ら寄附しようか」とか「損しない(自己負担が少なくてすむ)金額は幾ら」とかがわかりにくい!! **ピンと来ない感じ**

やはり「これぐらいなら故郷に還元してもいいかな」というものを実感していただく方がいいのでは。

### 寄附金の使途を寄附者が選択できるように！

何にでも使われたくない人もある。私なら自分の寄附金は「〇〇〇に使って」と言いたい。財政難を助けるのではなく、自分の郷里を想い、発展を願ってしたい。借金払いに使われる？そんな疑問を持ちたくないのでは。

寄附時にきちんと「ご意見」ではなくして「使途」について明確にしてもらう必要があると思う。続きは基金への意見で述べます。

### 寄附した後のフォローができてない！

寄附金の使われ方をきちんと報告すべき。その方法が記されていない。何に使われたかわからない(報告できない)ようでは、信用性がない。そんなものに寄附は集まらない。このような寄附は一過性でなく長くお付き合いいただけるように考えるべき。

また、確定申告をしなければ控除が受けられないわけで、その辺の説明が一切ない。これは誠に不親切。

さらに、前述のとおり寄附金控除は当該年分の所得控除であるから12月末までに納付いただいたものとなるはず。1月以降は次の年の所得控除となることは説明しておくべき。寄附者の期待感がそがれてしまう。

税制を知っている人のほうが少ない。制度説明もあるが、もっと実のある説明が必要では。

### 寄附金の見返りは駄目！

議会等では「他市の例」として5,000円の見返りを特産品等で云々というのを引き合いに提言があるが、寄附の性格から見返りとしての物の提供は絶対考えるべきではないのでは。安易に「検討する」等の答弁はいかがか？

やはり、サポーターとしての優遇策を充実すべき。故郷ならたまには帰って、貴方の第二の故郷にという気持ちで「来ていただく」を考えては

## ふるさと備前サポーターへの優待措置 “ええでんせえ備前”

各種イベントへの招待を！

ふるさと備前サポーターには、市の魅力を紹介することと思いますが「備前市に来ていただく」ことを考え、イベントへの参加をされる場合、優待措置を考えてはどうか。

例えば、花火大会なら招待席を設ける、備前焼まつりやカキ祭に来られるなら、駐車場の確保や、商工関係者の協力で備前焼、海産物購入時の優待割引など、他の者より一段上のサービスを提供する。

通常時でも、陶芸美術館、博物館等の入館料を割引か無料にするなどの特典を設け、備前市にお運びいただく。

寄附者に名産品を届けるというのと同じかもしれないが、備前市に来ていただくことに目を向けて考えては。

## **ふるさと備前サポート基金について**

### **ふるさと備前サポーターの厚志を生かすなら**

#### **私が寄附者なら、何にでも使ってほしくない!!**

基金条例により基金に積立られ、設置目的に従って使用するため取り崩されることになるが、基金という大きな箱の中で混ぜられて単に「地域の活性化、快適な生活環境の形成及び市民との協働のまちづくりを進めるため」に使われるとするなら寄附者の想いはどうか。

用途を寄附時に限定したい者は選択できるように、「この分野は、今後こういう事業に使っていきます」という総合計画に沿った具体的な用途を明記する。

選択された分野への寄附は、基金の中で明確に分けて管理し、取り崩す時もその分野に該当する事業予算に限る。

「基金が取り崩され、形となる」これを寄附者に報告していく。施設の落成式の案内や市民の感謝の気持ちを伝えるのも一つの方法。金額の多寡に関わらず、その分野に寄附してくれた人に報告する。

#### **私が寄附者なら、**

**ただの1,000円であっても、有効に使われた、喜んでいただけたいという**

**満足感が欲しい!!**

市外居住職員だって寄附者です  
当然、寄附者の想いはあるはず。

**有効に使って欲しい!!**

(別添)

ふるさと納税額 試算プログラム

給与所得のみの場合の目安です!!

黄色の欄に、源泉徴収票、特別徴収税額の決定通知書から数値を入力してください。

I 5千円を除いた額全体が税金から軽減となる、寄附金の額を試算します。

給与・賞与の支払金額 ①	<input type="text"/>	円	源泉徴収票から
給与所得控除後の金額 ②	<input type="text"/>		源泉徴収票から
所得控除の額の合計額 ③	<input type="text"/>		源泉徴収票から
所得税課税総所得金額 ②-③	<input type="text"/>	円	
所得税の摘要税率	<input type="text"/>	%	
市民税所得割 (a)	<input type="text"/>		特別徴収税額の決定通知書から
県民税所得割 (b)	<input type="text"/>		特別徴収税額の決定通知書から
住民税所得割額 (a)+(b)	<input type="text"/>	円	
<b>貴方の負担が5千円で済む寄附金の額</b>	<input type="text"/>	円	この額内であれば
軽減額		円	5千円を除いた額全体が住民税、所得税から軽減!!

貴方が備前市に寄附しようとする額を入力してください。

II 寄附金額に対する税金の軽減額を試算します。

備前市に寄附する金額	<input type="text"/>	円
寄附金の5千円を越えた部分が、税金の軽減対象です。		
		円
(所得税 + 住民税) 軽減額	<input type="text"/>	円
・住民税から軽減される額		円
・所得税(国税)から軽減される額		円